

19 八幡さん(八幡神社)と狛犬(こまいぬ)

荒井神社の御旅所。周辺に荒井城があったと言われている。

向かって右側の狛犬は球を左側は小さな狛犬を抱いている。



20 旧荒井村基標

八幡さん境内にある。測量等で基準となる石製の標柱である。



21 利生寺と小野川秀五郎の墓

元久元年(1204)俊乗坊重源の開基と伝えられている。浄土宗西山禅林寺派。又、荒井城郭は、八幡さんを中心であり、現在の利生寺山門は荒井城西門であったと言われている。



境内にある小野川秀五郎の墓

大坂相撲の親方で現役時代は八陣の四股名で大関まで進み、引退後は親方として大坂横綱八陣秀五郎を育てた。(1811~1867)



22 道標

旧街道沿い分岐の利生寺西100mの辻にある。西面の「壬辰三年」は江戸時代の天保壬辰3年(1832)と思われる。



23 旧荒井村道路元標

荒井神社東門北にある。正面に荒井村道路元標の刻印がある。元標とは、旧道路法に基づいて「道路の付属物」として設置されたものである。



24 旧荒井村水道・消火栓

旧荒井村の千鳥マークのついた水道・消火栓用の蓋。市民病院北道路他にもある。



25 道標

荒井神社北門前にあり、天明2年(1782)の銘がある。



26 道標

荒井神社東門前にあり、寛政12年(1800)の銘がある。字体や文章はなかなかのものであり、市内でも最高のもものに属する。



27 荒井神社

大己貴神(だいこくさん)・事代主神(えべっさん)を祀る。舒明天皇の時代(629~641)に創建された。



本殿

28 荒井神社東側の石垣

扇子の地紙型をした石が組み込まれている。竜山石※1。



29 美雄弥(みおや)神社

江戸時代前期に建てられた荒井神社の旧本殿。市指定文化財。現在は荒井出身戦没者を祀る社になっている。萬治2年(1659)の棟札が残る。



30 結びの松

荒井神社御祭神の「だいこくさん」は緑結びの神であり、境内には、雄松と雌松の「結びの松」がある。



31 鳥居先地蔵(酒呑み地蔵)

お酒を供えて願い事をすれば、叶えてくれると言われている。室町時代後期、凝灰岩(黄竜山石※1)。



32 荒井村六左衛門の墓(あぼしや六左衛門)

明覚寺境内にある。魚崎村に塩田を開発して入浜式塩田を完成させ、高品質の塩をつくった。



33 中野三九郎翁の碑

観音寺境内にある。六ヶ井堰荒井村委員長として水利事業を、又、荒井村村制以来村会議員として荒井村の自治に貢献した一大功労者である。「水利翁」の尊称まで得た。(1851~1933)



34 御講堂(おごぞ)地蔵

室町時代後期のもので、阿弥陀如来立像。凝灰岩(黄竜山石※1)。寺の講堂跡と言われる。



35 弁財天

観音寺の住僧慈空が正徳3年(1713)に弁財天を迎えて祀った。7月14日が夏祭。



36 千鳥小橋跡

旧洗川の橋。川は埋め立てられ、現在は欄干のみ残っている。



37 昭和資料館

郷土史家の故安井保氏が昭和時代の道具・器具類を収集し展示している。見学は要予約:079-442-0405(安井宅)



作成者:荒井ふるさと再発見し隊

連絡先 隊長:伏野 079-442-2759 担当:福田 079-443-2231

作成日:平成25年11月吉日